

鍛冶茉音さん（1年） 世界へ羽ばたけ！

～ 県功労表彰受賞伝達式及びワールドカップ壮行会（11／26） ～

【県功労表彰受賞伝達式】

県功労表彰は、産業経済や教育、スポーツ、科学・文化など各部門での功績を讃え、今年度は、個人で30名が表彰を受けました。校長は「鍛冶さんは、令和2年1月にスイス・ローザンヌで行われた、第3回ユース五輪冬季大会スノーボードハーフパイプ競技で2位に入賞しました。富山県のスポーツ振興に寄与した功績によって、この素晴らしい栄誉を受けました。」と県功労表彰の重みについて話し、表彰状を全校生徒に披露しました。

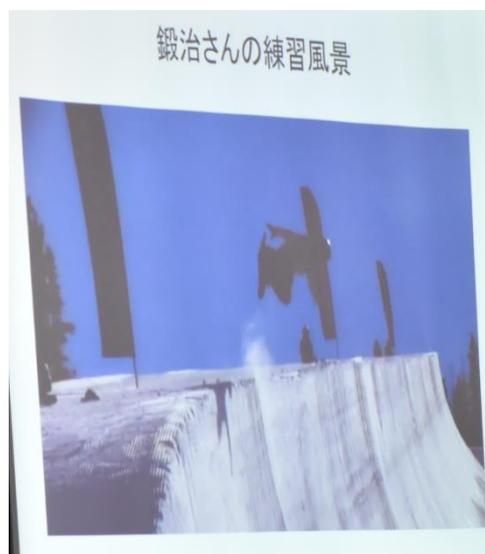


〈本校のバックボードを背に賞状を披露〉

【ワールドカップ壮行会】

鍛冶さんが活躍しているスノーボードハーフパイプがどんな競技なのかの練習風景とユース五輪冬季大会で2位になった時の映像を通して紹介しました。

校長先生は「今、動画で鍛冶さんの素晴らしい滑りを見ました。お椀型のコースでスピードがあり、見るからに大きな危険を伴う命がけのスポーツです。鍛冶さんは、『高いところから見る景色が好きで、高く飛ばせば飛ぶほど、気持ちがよく、鳥のようになって空を飛んでる気分になれるんです。』と語っています。アメリカ、スイスで開催されるワールドカップの連戦に挑戦し、2022年2月に開催される北京オリンピックの出場を果たし、活躍することを心から期待しています。



大会では、自分の力を100%出せば結果が自ずとついてくる。そうはいつでも結果だけが全てではないが、自分の力を出し切ったときに、自分が納得できる。全ては自分の努力があるからです。力を出し切ってきてほしい。全校生徒、全教職員が応援しています。1番高い表彰台に立っている姿を思い、激励の言葉とします。」と結びました。

長谷川生徒会長から「鍛冶さん、ワールドカップ出場、おめでとうございます。このコロナ禍、モチベーションを保ち、練習に取り組むことは、とても大変だったろうと思います。これからアメリカ遠征を皮切りに、大きな大会が続きますが、ベストコンディション

で、思う存分、力が発揮できることを祈っています。世界で活躍している鍛冶さんは、私たち高朋生の誇りです。全校生徒一丸となって応援しています。」と激励しました。

生徒会執行部・生徒有志によるエールを送り、校歌を心の中で斉唱しました。



〈生徒会執行部・生徒有志による応援エール〉



最後に鍛冶さんは「このような立派な壮行会を開いていただきありがとうございます。ワールドカップ第1戦アメリカ大会は中止になりましたが、第2戦スイス大会、第3戦アメリカ大会と続きます。上位入賞を目指して精一杯頑張りますので、応援よろしくお願ひします。」と力強く述べました。そのあとのぼり旗の花道を、全校生徒の拍手に送られ、退場しました。